

平成31／令和元年度における児童虐待相談等の状況について（速報値）

令和2年7月21日
京都府健康福祉部
家庭支援課
(075-414-4592)

京都府では、府内児童相談所（京都市を除く3箇所※）における平成31／令和元年度の児童の虐待相談・対応の状況について取りまとめましたのでお知らせします。

※家庭支援総合センター、宇治児童相談所、福知山児童相談所

1 児童虐待相談の状況

○ 相談受案件数（平成31／令和元年度中に児童相談所が通告を受け付けた件数）

2, 547件（前年度より443件増 前年度比121.1%）

年度	27	28	29	30	31/元
府内3児相合計 (前年度比)	1,120 (99.9%)	1,502 (134.1%)	1,663 (110.7%)	2,104 (126.5%)	2,547 (121.1%)

○ 主な増加要因

- ① 警察 1, 331件（前年度より324件増 前年度比132% 構成率52.3%）
- ② 近隣・知人 337件（前年度より95件増 前年度比139% 構成率13.2%）
- ▶ 平成30年10月に府と警察が情報共有に関する協定を締結し、情報共有の体制強化に伴い、警察からの通告が増加（増加件数の大半を占める）
- ▶ 近年、虐待による痛ましい事件の発生を受け、児童虐待に対する社会的な関心の高まりにより、近隣・知人からの通告が増加

○ 虐待の種類

- ① 心理的虐待 1, 542件（前年度より311件増 前年度比125% 構成率60.5%）
- ② 身体的虐待 518件（前年度より47件増 前年度比110% 構成率20.3%）
- ③ ネグレクト 470件（前年度より116件増 前年度比133% 構成率18.5%）
- ▶ 子どもの面前での暴力（面前DV）による心理的虐待通告のほか、過度のしつけ等による身体的虐待通告が増加
- ▶ 増加件数では心理的虐待に次いで身体的虐待が多いが、増加率で見ると小学生までの小さい子に対する夜間放置等のネグレクトが最も増加

○ 主たる虐待者

- ① 実母 1, 298件（前年度より285件増 前年度比128% 構成率51.0%）
- ② 実父 1, 019件（前年度より120件増 前年度比113% 構成率40.0%）
- ▶ 夫婦間での面前DV等による心理的虐待通告の増加に伴い、虐待者が実親となるケースが増加

2 新型コロナウイルスの影響について

令和2年1月～3月の児童虐待相談受案件数

（ ）は前年同月の件数

	1月	2月	3月	計
府内3児相合計	230(159)	154(195)	196(220)	580(574)
前年比	144.6%	78.9%	89.0%	101.0%

- ▶ 相談受案件数は前年度同期と比べて横ばいであり、新型コロナウイルスの影響による児童虐待相談について、特段増加は認められない
- ▶ 本年4月以降も相談受案件数の増加は特段認められないが、長期間の外出禁止のストレスなどによる軽微な相談が目立ってきている

